

つながり

「つながり」は、医療や介護に従事する皆様が、多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして、季節の節目ごとの発行を予定しております。皆様からのご意見やご要望、ご提案など、是非、本センターまでお寄せください。お待ちしております。

在宅医療・介護連携センターの仕事を紹介します！

関係者の皆様には 在宅医療・介護連携の推進に向け「情報の発信」「在宅医療の支援」「顔の見える関係づくり」を柱とする各種取組を行っています。

効果的な**研修**で連携を促進します

【在宅医療推進のための多職種連携研修会】

職能団体のけん引役となって一緒に秋田の在宅医療・介護の連携を盛り上げていきませんか？10月に新しい形の研修会を開催予定です。



平成30年度セミナー

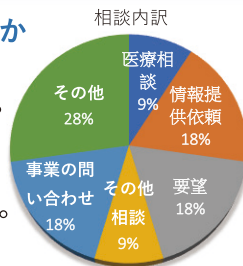
【在宅医療・介護連携セミナー】

今年もグループワークを取り入れたセミナーを開催します。様々な職種と意見交換できるチャンスです！ぜひ参加して顔の見える関係を築いてください。

連携に関する**相談支援**を受けています

医療と介護の連携に関する**関係者からの相談**を受付けています。今年度の相談件数は、7月31日現在で11件。在宅医療を実施している医療機関の問い合わせ、福祉サービスの利用についての相談などがありました。

* 受付時間は月～金（祝祭日を除く）9時～17時



有効な取組**事例**を**研究**しています

市内外の取組事例の情報収集、研究も行っていきます。

他都市の先進的な取組の他、皆様が普段の業務で実践している効果的な取組などを教えていただくことで、今後の活動へ繋がります。面白い取組、または他の事業所の気になる取組などの情報がありましたらぜひ教えてください！



市民の皆様には 在宅医療・介護サービスの情報を提供するため、地域住民の方を対象とする普及啓発事業を行っています。

今年も**市民講演会**を開催します

日時：令和元年8月25日(日) 13:30～15:30

場所：アルヴェ多目的ホール

テーマ：**元気なうちから知っておきたい**

在宅医療と介護について

講師：鎌田百合子氏、長谷山俊之氏、湊聖子氏

※講演後に市民向けの相談コーナーを設置する予定です。

公共施設や医療機関などにチラシを設置しておりますので、地域の方々へ周知のご協力をよろしくお願いいたします。関係者の方の参加も大歓迎！



市民講演会チラシ

出前講座を開設しています

町内会や老人クラブの方からお声をかけていただき、地域に出向いて「**住み慣れた地域で過ごすために在宅医療について知っておきたい事**」というテーマでお話しをさせていただきます。



「往診している医療機関が知りたい」「在宅介護の具体例が知りたい」などの声をいただいています。今後は講座内容の充実を図るため、専門職の皆様にもご同行をお願いする予定です。その際はご協力のほどよろしくお願いいたします。

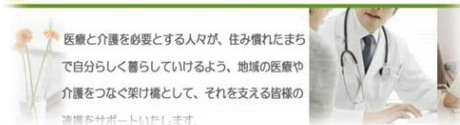


広面地区の町内会で

ホームページを開設しました

地域医療と介護の架け橋

秋田市在宅医療・介護連携センター



連携センターのホームページが完成し、運用を開始しています。市内の医療・介護事業所リストの他、当センターの活動内容や研修の報告などを掲載しています。また、今後は職種間で



調査フォームイメージ画像

資源調査ご協力をお願い

ホームページ上で地域の医療・介護事業所の基本情報を公開しています。各事業所からいただいた回答内容を元にして、より

詳しい情報を掲載していく予定です。お手元に資源調査の依頼が届きましたら、ご協力をよろしくお願いいたします。

情報交換しやすくなるよう、職能団体が行うイベント情報などを一元化して掲載する予定です。このホームページは、市民の皆様には医療・介護サービスを知っていただくため、そして関係者の皆様にはお互いがつながりやすくなるため、随時更新しながら運営していきます！

ホームページのURL → <http://www.acma.or.jp/renkei/>

秋田市在宅医療・介護連携推進協議会を紹介します！

秋田市では、在宅医療と介護サービスの一体的な提供体制の構築について協議するため、平成29年10月に「**秋田市在宅医療・介護連携推進協議会**」を設置しています。協議会には3つの作業部会が設けられ、各部会ごとに個別の専門テーマを掲げ、医療と介護の連携推進に向けた具体的な取組のあり方を検討しています。ここで検討された課題や対応策等を踏まえ、連携センターはその実行部隊として事業化を図っています。

【協議会の構成団体】

秋田市医師会、秋田県病院協会、秋田市歯科医師会、秋田県薬剤師会秋田中央支部、秋田県看護協会、秋田県リハビリテーション専門職協議会、秋田市老人福祉施設連絡協議会、あきた中央医療連携実務者ネットワーク、秋田県中央地区介護支援専門員協会、秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会

在宅医療連携部会



協議会会長兼部会長
松岡内科クリニック
院長 松岡一志氏

多職種連携とは平たく言うと「患者さん一人一人に様々な課題があるため、それに関わっている人が情報を共有し、なるべくうまくみていきましょう」という考え方で、昔のように医者の一言で全てが決まる時代は終わり、医療職にもコミュニケーション能力の向上が求められています。どの職種にとっても自分の領域外に踏み出すことには勇気が要りますが、そこを乗り越え、情報を補い合うことで、一人の方への支援が成立するのです。この協議会が、その連携推進の一端を担っていければと思っています。

多職種連携推進・研修部会



部会長
御野場病院
理事長 皆河崇志氏

連携に必要な事は、職種の単位で捉えると「相手への理解」、そして個人の単位で捉えると「ツール」、自分の領域以外の知識を持ち理解する事が新たな気づきにつながり、それを担当職種に伝えることで支援の可能性が広がります。また、その気づきを伝える手段として、共通の様式を使用する事が有効とされています。現在秋田市でも情報共有ツールの作成に向けて準備中ですが、これらをうまく活用し、患者一人一人の能力が活かされるような支援につなげられればと思っています。

普及啓発部会

市民に一番に伝えたい事は「様々なサービスがある事を知り、専門職に相談して欲しい」です。ゴールが見えない介護は本当に大変なもの。頑張りすぎると介護する側はダウンしてしまいます。協議会全体で医療・介護の連携について様々な仕組みを考えていますが、市民にその仕組みを伝え有効活用できるように働きかけていく事が、普及啓発部会の役目と考えています。市民一人一人が自分事として捉え、抱え込まずに準備できるようになれるといいですね。



部会長
熊谷内科医院
院長 熊谷肇氏



7月22日、令和元年度第1回秋田市在宅医療・介護連携推進協議会が開催されました

【長寿福祉課より】

秋田市の高齢化率は、30.8%（平成31年4月30日現在）。2040年には42%に達すると推計されており、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の増加も見込まれています。協議会では、毎回、医療と介護の連携について、現場の活動を通じた活発な意見交換が行われています。市では、地域包括ケアシステムの実現に向け、いただいた意見を参考に連携センターと協力し必要な事業の実施に努めて参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



地域包括ケア担当
副参事 田中としみ氏



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金(祝祭日を除く)午前9時～午後5時
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館内)
TEL : 018-827-3636 FAX : 018-827-3614
E-mail renkei-center@acma.or.jp
URL <http://www.acma.or.jp/renkei/>



編集後記

この間、医師の先生方や専門職の方から直接お話を聞く機会に恵まれました。事前に自分で調べて行っても、教えてもらうと大違い。直接会話をする事の大切さを実感しました。お忙しい中お時間を割いてくださった皆様、ありがとうございました。(熊谷)

